

授業名	人間科学基礎ゼミナールⅡ	学期	2016年度 秋学期
担当者	アール キンモンス		
テーマ	国際的視野から見た日本の育児支援制度と生活環境		
授業の概要	人口減少と高齢化に伴い、日本は深刻な労働力不足に陥ることが予測されている。不足する労働力を補うために、外国人労働者の導入や女性が仕事と子育てを両立できる環境を整える必要性が考えられている。この授業では日本と諸外国の育児支援環境、労働条件と男女の役割分担を考察し、国際的に見た日本の現状と特徴に関する理解を深める。		
授業の到達目標	<p>ディスカッション・プレゼンテーション・発表を基にしてコミュニケーション能力を高めることが出来る。</p> <p>レジメとレポートを書くことを基にして国語力を高めることが出来る。</p> <p>海外と日本の育児支援環境を理解し説明することが出来る。その知識を生かして、政治家と行政官僚が提案する育児政策が評価できる。</p> <p>保護者としての自分の将来をより計画的に考えることが出来る。日本のマスコミが海外の事情を報道する際、その報道を疑い深く見て美化と現実を識別が出来る。</p>		
授業形態	テーマ関連のビデオを見、入門資料を読み、少人数討論で問題意識を高めてから、研究テーマを選び、グループで調べて報告する。		
テキスト	特になし。		
参考文献	担当教員が逐次指示する。		
評価方法	通常点(20%)、研究発表とレポート(40%)、学期末試験(40%)に基づき評価する。授業日の2/3以上の出席が受験と合格の必要条件である。		

授業計画	1 授業: 授業のやりかたとテーマについて 2 授業: 日本の人口動向 3 授業: 日本の育児支援環境 - 保育所・幼稚園 4 授業: 近年の育児支援政策変化 5 授業: ワーク・ライフ・バランスと育児支援 6 授業: 諸外国の育児支援環境と人口政策 7 授業: 男性と育児 - 海外のイクメン・日本のイクメン 8 授業: 研究グループ・研究テーマの決定 9 授業: テーマ研究 10 授業: テーマ研究 11 授業: テーマ研究 12 授業: 学生による研究報告 13 授業: 学生による研究報告 14 授業: 学生による研究報告 15 授業: 試験の答合わせ
統括的な留意事項	各回テーマ関連の資料を事前に見る。

オフィスアワー	水曜日 2 時限 256-C 研究室
メールアドレス	ehkuso@gmail.com メールの題目に教育と社会、お名前、学籍番号を記入する
ホームページ	http://www2.gol.com/users/ehk/ikuji (常時) http://ehk.servebeer.com/ehk/ikuji (深夜停止) スライド(講義) 参考資料
ノート	